

教師教育コンポーネント活動状況 (2020年1月)

3年生新カリキュラム導入研修～現職教員編～

CREATE では、新カリキュラム導入前に、全国すべての小学校の先生が新カリキュラムの特徴や教え方を学ぶ研修を支援しています。これまで実施された1年生、2年生の導入研修に続き、2019年1月から5月にかけて、3年生の新カリキュラム導入研修が、中央、州/管区、ディストリクト、タウンシップといった各レベルで順番に実施されました。



CREATE プロジェクトでは、中央研修の実施を支援するとともに、各レベルでの研修のモニタリングを行い、研修がしっかりと実施されているかどうか、また、4年生、5年生の導入研修に活かすための教訓は何かを確認しました。モニタリングは、参加者の理解度確認テストを含む研修後のアンケートや、プロジェクト専門家・教育省カウンターパートによる観察によって実施されました。一部のディストリクトでは研修の場所やセッションの長さなどに対する評価が低かったものの、参加者の研修に対する評価は概ね高い結果となりました。

また、参加者の学びについては、ほとんどの参加者が新カリキュラムを実践することに自信があると回答しました。その一方で、確認テストでは、教授・学びのプロセスに対する理解度を測る問題の一部について、過半数の参加者が正解していたものの、1・2年生の研修に比べて正解率が低いという少し残念な結果もありました。これらの結果を受け、2020年1月から開始している4年生の新カリキュラム導入研修は、3年生のモニタリングで得たグッドプラクティスや反省を生かした計画・内容に基づいて実施しています。



3 年生新カリキュラム導入研修～EC 編～

CREATE では教科書の作成に加えて、小学校の先生を養成する教員養成校（以下 EC）で EC の教官や学生を対象に、新カリキュラムの教え方に関する研修の教材も毎年開発、提供しています。3 年生では、前述の現職教員向けのカリキュラム導入研修の中央レベル研修に各 EC から代表の教官が参加し、その教官がそれぞれの EC で同僚教官に共有、さらに学生たちにその内容を伝えていくという形で行われました。



こちらの研修でもモニタリングを行い、研修後のアンケートと、プロジェクト専門家・スタッフによる観察が行われました。モニタリングを行った 2 校の EC のうち 1 校では、研修時期がテスト前の繁忙期であったこともあり、研修が十分に行われず、学生の理解度が低いという結果も見られましたが、すべての研修を実施したもう 1 校では、比較的高い理解度が確認されました。学生自身の新カリキュラム実施に対する自信についても、同様の結果が得られ、研修に十分な日数・セッション数を確保することの重要性が確認されました。4 年生以降の研修では、この結果を踏まえ、研修をきちんとマネジメントすることができた EC の事例を他の EC にも共有し、さらに効果的な研修が実施されることを目指しています。

研修教材や研修で使用したビデオクリップは「ミャンマー新初等カリキュラムウェブサイト」
(<https://createmmm.org/en/download>) のダウンロードページ左側の「New Curriculum Introduction Training Materials」タブからご覧いただけます。



教員養成校で活躍する JICA 海外協力隊員

現在ミャンマーでは、EC が元々の 2 年制から 4 年制に移行されることとなり、それに伴って、UNESCO が支援した 4 年制 EC の新しい課程が導入され始めています。CREATE では、プロジェクトが支援している新初等カリキュラムがこの新課程に反映されるように、教材の提供や UNESCO との協議、EC 教員に向けた研修を行ってきました。

CREATE オフィスはヤンキン教員養成校の敷地内にありますが、そのヤンキン教員養成校には 3 名の JICA 海外協力隊員が活躍しています。今回は、そのお一人の友村由衣さん（小学校教育隊員）に、ご自身の活動や EC 新課程に対する教員養成校の反応について、お話を伺いました。

CREATE 広報担当（以下、O）： ヤンキン教員養成校ではどのような活動をしていらっしゃるのですか？

友村さん（以下、T）： 2019 年 9 月に赴任したばかりなので、今は 1 年生の社会科を中心に見学をしながら、どのような活動ができるのかを考えています。ヤンキン教員養成校では、研修の成果もあってか、グループワークは多く取り入れられているのですが、グループワーク以外の活動は少なく、グループワークさえすれば学習者中心だ、とされている印象があるので、様々な種類の活動を紹介していきたいです。また、学生一人ひとりの学びのプロセスを尊重するような活動も共有したいと思っています。

O： EC の新しい課程に対して、EC の先生方の反応はどうですか？

T： 同僚の一人からは「新しい課程になってよかった！」という声を聞きました。科目に変更があったため、授業の受け持ちなどについて少し混乱もありましたが、おおむね好意的に受け止められていると思います。

O： それは嬉しい反応ですね。新課程の導入に伴い、EC の先生方を対象にした様々な研修も行われていると思いますが、そちらに対しての反応は何か聞いていますか？

T： 直接何か聞いたわけではないのですが、風船でコミュニケーションを取り合うアクティビティを取り入れる等、研修で学んできたものをよく吸収しているという印象はあります。人によるところも多いのですが、やる気のある先生は研修機会をうまく活かしているようです。

O： 友村さん、ありがとうございました！

文責：大津 璃紗（広報）